

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京丹後市

プロジェクト名	もうひとつの京都推進プロジェクト（京丹後市）	実施期間	平成27～29年度	テーマ	その他 （もうひとつの京都）	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>地域創生の実現のためには、地域の魅力を最大限に引き出し、交流人口の拡大・産業の振興を図ることが必要である。特に、3つの京都に関しては以下の課題があり、これらの克服を図る。</p> <p>【海】観光資源は豊富であるにも関わらず、景観整備やコンテンツが不十分である。また、観光資源が点在しており、周遊するシステムが十分に整備されていないため、日帰り観光客が多く地域経済への波及効果も限定的である。</p> <p>【森】担い手不足や木材価格の低迷などにより集落機能の維持・管理が困難になっており、新たな視点で森資源を活用する必要がある。また、森林の公益的機能が低下することや森の文化の継承が困難であることについて懸念があり、野生鳥獣被害への対応も求められている。</p> <p>【お茶】文化や産業の衰退にもつながる、消費の減少や生産者の高齢化が進んでいる。地域全体としての発信力に欠け、相乗的な経済効果を生んでいない。また、宿泊施設が少なく日帰り観光が可能で、魅力的なコンテンツや回遊システムが十分に整備されていないため、一人当たりの観光消費額が低い。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>豊かな自然や長い歴史に磨かれた地域の資源や特性を活かし、市町村と府が連携して総合的かつ計画的に特色ある地域づくりを進める。産業・観光を振興することを目的とする。</p>						
	総事業費（千円）	54,948	本年度事業費（千円）	10,536	交付金額（千円）	5,156	
プロジェクトを構成する事業の平成28年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	京丹後大宮インターチェンジ啓発広告物設置事業	交付対象事業	開通記念横断幕、歓迎サイン作成		山陰近畿自動車道京丹後大宮インターチェンジ開通を機に、交通アクセスの向上と京丹後の魅力を発信。		
住民協働事業	スポーツイベント推進事業	交付対象事業	世界にPRするため各種スポーツイベントの開催を支援		歴史街道丹後100kmウルトラマラソン（参加者3,062人）を開催するなど、様々なスポーツイベント開催を支援した。		
	東京オリンピック・パラリンピック推進事業	関連事業	カヌーを通じた韓国等との交流活動を推進		ホストタウン推進に係る海外実地調査を実施（行先：大韓民国、訪問日：11月18日～20日）		
成果指標①	成果指標の目標数値	年間観光入込客数 H25 176万人 → H29 200万人		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	219万人		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	海の京都京丹後旅、観光パンフレット等の製作・活用、関西圏及び中京圏等での広報宣伝、多様なメディアを活用した観光情報の発信等を行ったため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）		
成果指標②	成果指標の目標数値	年間宿泊客数 H25 35万人 → H29 45万人		成果指標の実績値 （平成29年3月31日時点）	36万人		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	海の京都京丹後旅、様々なスポーツイベント、ジオパークなど地域の資源を活かした誘客事業を行ったため。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）		

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成28年度分）

団体名：京丹後市

成果指標 ③	成果指標の目標数値	スポーツイベント参加者数 H26 12,000人 → H29 13,720人		成果指標の実績値 (平成29年3月31日時点)	10,999人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	参加者数は、昨年度より減少したものの、多様なスポーツイベントの開催により、参加者数及び交流人口の増加に繋がったため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果  ※未達成の場合も効果を記載すること	観光資源を活かした様々なスポーツイベントを開催し、大会を通じて国内外に本市の魅力を発信することにより、交流人口の増加に繋がった。あわせて、山陰近畿自動車道京丹後大宮インターチェンジ開通を機に、交通アクセスの向上と京丹後の魅力を発信することで、効果的に観光誘客等に繋げることができた。  ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	スポーツイベントやインバウンドの推進による観光などを振興するため、ホストタウン推進に係る海外実地調査を実施した。			
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府と北部5市2町が連携して取り組む「海の京都」に関連し、地域の特性を活かし、久美浜湾でドラゴンカヌー大会を多くの参加者のもと開催することにより、交流人口の増加に繋がった。			
	住民の自治意識を高める成果	ウルトラマラソンでは市内外から集まった約1,400人のボランティアスタッフに活躍してもらうなど、様々なスポーツイベントをボランティアの方々と運営することにより、自治意識を高めることができた。			
	広域的波及成果	台湾・台東県で毎年3月に開催されるウルトラマラソン大会と丹後ウルトラマラソン大会の上位入賞者2名ずつを相互に派遣し合い、友好を深めた。			
	その他の成果	歴史街道丹後100kmウルトラマラソンについては、過去最多となる39人（8か国）の外国人ランナーが参加した。大会前日には、国際交流イベントを開催し、市民との交流を深めた。			